

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会
第1回 議事録(要旨)

開催日：平成26年12月25日(木)

参加者一覧

検討会委員 安藤 辰夫 (一財)自然学総合研究所技術顧問 大塚 之穂 日本野鳥の会岐阜代表 西條 好迪 (一財)自然学総合研究所所長	
事務局 小川 泉 恵那土木事務所 副所長 八代 貴守 恵那土木事務所道路建設課濃飛横断自動車道建設係長 堀部 陽生 恵那土木事務所道路建設課濃飛横断自動車道建設係技師 西岡 幸宏 岐阜県都市政策課技術課長補佐 長瀬 主税 岐阜県道路建設課技術課長補佐 阿部 晋也 岐阜県道路建設課企画係技術主査 他2名 大日本コンサルタント株式会社	

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会 議事録(要旨)

議題	発言者	番号	意見の主旨	当日の回答
1. 設置要綱の説明				
	事務局	-	設置要綱が了承され、平成26年12月25日より適用となった。	✓
2. H27.1月の現地概査について				
	検討会委員	1	岩屋堂地区には、平成26年11月に確認されたオオタカの巣以外に、オオタカの行動圏内に過去に使用した別の巣がある可能性がある。今年度の冬季に、岩屋堂地区の林内踏査を実施し、別の巣がないか確認を行うこと。	冬季に調査を実施する。
	検討会委員	2	オオタカは枝振りの良いアカマツを好むことが多い。オオタカの営巣木を確認した場合、枝の張り具合を記録しておく、保全対策として代替巣を設置する場合の参考となるので良い。営巣木を探すには、落葉期が良い。	今後、検討する。
	検討会委員	3	オオタカの保全対策を検討するに当たり、周辺の樹林地へ誘導できる余地があるのか、周辺に生息するオオタカとの関係について、早めに把握する必要がある。平成27年度は、繁殖成否の確認だけでなく、おおまかな行動範囲を把握するような調査を行うと良い。	今後、検討する。
3. 今後の調査について				
	検討会委員	4	“行動圏の内部構造を把握する調査”の実施時期は、工事着手3年前及び2年前に実施すること。工事着手1年前は、保全対策の必要性とその内容の検討・実施に充てる必要があると思われる。	今後、検討する。
	検討会委員	5	調査範囲周辺に、鳩小屋のある人家がある場合、鳩小屋にオオタカが入り込んだ事がないか、ヒアリングを行うと良い。	鳩小屋があった場合、ヒアリングを実施する。
	検討会委員	6	調査範囲周辺の樹林について、植生や人の利用状況も調査した方が良い。	周辺樹林の植生や、人の利用状況について、調査を実施する。
	検討会委員	7	これほど里に近い営巣は珍しい。来年に一度、委員と現場視察に行けると良い。現場状況がイメージできると、意見も活発に出るものと思われる。	岩屋堂地区及び周辺地域の調査が一通り終了し、ある程度データが集まった段階で、現地視察ができれば良いと考えている。
	検討会委員	8	現場では、植生を確認すべきである。また、他の開発(JR)による影響も考慮する必要がある。	-
4. 次回の検討会の実施時期について				
	事務局	-	第2回鳥類対策検討会は、平成27年1月中旬～下旬を予定している。開催日程については、後日各委員に案内する。	-
5. その他				
	検討会委員	9	リニア中央新幹線におけるオオタカ調査のデータについて、情報提供を受けられると良い。	調整する。

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会

第1回検討会 総括

- 具体的な対策の検討に当たっては、現在判明しているオオタカ営巣箇所周辺の環境を把握しておく必要がある。具体的には、判明している巣の周辺に、過年度に使用した巣がないか、また、周辺の植生や餌場、人間の利用状況などを調査するとよい。
- 本ルート計画による道路整備がオオタカ生息環境に与える影響を低減させるための対策の検討は、工事着手の前年に実施すること。また、そのために必要となる行動圏解析等は、オオタカが巣の位置を変更する可能性も考慮して、検討の2年前から前年にかけて実施するとよい。

以上